

板取川中学校区 学校再編だより 第2号

令和7年8月発行

関市教育委員会事務局教育総務課

TEL:0575-23-7722(直通)

E-Mail:somu-edu@city.seki.lg.jp

第2回洞戸・板取学校再編準備委員会が開催されました。

洞戸小学校と板取小学校の再編に向けた「第2回洞戸・板取学校再編準備委員会」が、令和7年5月21日(水)に洞戸ふれあいセンターで開催されました。関市学校規模適正化計画に基づき、地域の子どもたちにとって最適な教育環境の実現を目指し、具体的な協議が進められています。多くの関係者が集まり、熱心な議論が交わされました。前回の委員会(令和7年2月19日開催)では、以下の再編方針が決定されています。



以下の再編方針が決定されています。

再編期日は令和8年4月1日とする。

再編後の学校名称は「洞戸小学校」とする。

学校の場所は現在の「洞戸小学校」とする。

今回の委員会では、これらの決定事項を前提とし、より実践的な課題について深く掘り下げた議論が行われました。主な議題として、新学校への円滑な移行を支えるスクールバスの運行計画、新しいPTA組織の円滑な調整方法、放課後の子どもの居場所となる留守家庭教室の運営体制が挙げられました。また、板取小学校の歴史を讃える閉校記念式典の企画についても議論され、閉校記念行事を令和8年3月14日(土)に開催する計画であることを確認しました。さらに、両校の交流を深め、スムーズな統合を促進するための洞戸小学校と板取小学校の合同授業の実施についても活発な意見交換が行われました。委員からは多角的な視点からの提案がなされ、実り多い会議となりました。

未来を担う子どもたちの学びの環境を整え、地域コミュニティとの連携を深めるため、引き続き慎重かつ綿密な検討が進められていきます。

洞戸・板取学校再編準備委員

○委員長

洞戸小学校運営協議会 会長 桑原直樹

○副委員長

板取ふれあいのまちづくり推進委員会 委員長 長屋勉

○委員

ほらど未来まちづくり委員会 委員長 後藤信幸

自治会連合会板取支部 支部長 長屋正幸

板取小学校運営協議会 代表 高井久美子

板取川中学校運営協議会 会長 長屋紀則

洞戸小学校PTA 代表 野村成孝

板取小学校PTA 代表 三島成人

板取川中学校PTA 代表 後藤弘道

洞戸保育園保護者会 会長 内藤雅也

板取小学校 校長 新家哲郎

洞戸保育園 園長 長屋美樹

(新しく委員になられた方)

自治会連合会洞戸支部 支部長 林庄治

洞戸小学校 校長 岡田みどり

板取川中学校 校長 森伸枝



洞戸小学校・板取小学校の交流授業が始まりました。

4月30日、板取小学校の児童たちが洞戸小学校を訪れ、初めての交流授業が行われました。最初は緊張した面持ちだった子どもたち。しかし、授業や休み時間を一緒に過ごすうちに、笑顔があふれる一日となりました。

体育館では、ドッジボールやじゃんけん列車などの授業が行われました。チームに分かれて協力したり、応援し合ったりする中で、子どもたちの間には自然と一体感が生まれました。白熱した試合の後には、お互いの健闘を称え合う姿も見られました。



先生の声

「最初は緊張していた子どもたちが、徐々に打ち解けていく様子を見て、本当に嬉しく思いました。この交流授業を通して、子どもたちは新しい友達を作り、コミュニケーション能力を高めることができたと思います。」

第2回の交流授業は、米作り体験と川原での創作活動！

5月9日、第2回目の交流授業が行われました。

5, 6年生は、米作りの学習の一環として、ほろど未来ファームの方々にご指導いただきながら、「田植え」を体験しました。2, 3年生は、板取川の川原まで徒歩で出かけ、思い思いの石を拾ってきました。川原には様々な形や大きさの石があり、子どもたちは宝探しのように夢中で石を探していました。

4年生は、田植えを見学した後、環境学習の一環として板取川の環境観察に出かけました。川原の石やそこに生息する生き物、水質などを観察しました。

給食の時間には、板取小学校の給食を洞戸小学校に運搬して、一緒に給食を食べるという特別な体験をしました。板取小学校の児童もエプロンをつけ、給食当番を体験。洞戸小学校の配膳手順に合わせて、協力しながら給食を準備しました。

今回の交流授業を通して、子どもたちは自然に触れ、地域の方々から学び、友達との絆を深めることができました。次回の交流が、今から待ち遠しいです。

